

# あぶくま急行新聞



発行日 2011年 8月24日  
 発行者 かま田海里

66日間で運行再開！  
 すいいぞあぶきゅう

四月六日、しん災後  
 運休しているはずの「あぶきゅう」の線路の方が  
 ら電車の音がした。ぼくは外に出た。すると、線路に保線用の車両が見えた。マルチだ！一年生のとき、「ちびっこ探検隊」ぞ見学したことのあるマルチが走っていた。ぼくはうそをいって、放射能から身を守るために外に出ないように



言わねていられるも忘れた。マルチの動きを見ていた。ピーピービ、ガチャンガチャン、すすんでいった。あとで知ったことだけ、マルチが入らないほど、曲がったレールもあつたそう。そういうところは人力で直してからマルチを入れるのだそう。きかいが万

ぼくは気がついていたら、電車が大好きになつていました。三才のころ、瀬上駅のホームのベンチで「あぶきゅう」を見ていたとき、車しよう



(福島学完前馬尺のホーム)

能ではなく、あくまでも人間がきかいを使うことが大切なのだ。あぶきゅうの人が話してくれた。なるほど思った。

さんが、ぼくの帽子を「がわい

## 仲よしの中村さん



が、あるとき運転士さんになつていました。なんかすぐくうれしかったです。その運転士さんがけん命に線路を直したそう。す。ありがとう。

ぼくとおばあちゃん足のような「あぶきゅう」は、赤字路線なのだ。今回のしん災で、やく四億の損失を出したので、赤字額がふくね上がつたと、新聞にのつていま一生にがていぶきをばうえんしています。浴線の人たちにも、もつと「あぶきゅう」を利用してほしいです。それがぼくの願いです。

## がんばれ！あぶきゅう



「あぶきゅう」のいいところをあまり書けなくて、ざんねんに思いました。この次に書きます。

書き終えて